

## 梅園整備及び神社保全事業



会員の御奉仕による梅園整備。

梅・桜も咲きました。



天神社社務所が完成し素晴らしい天神社となりました。



石垣・亀石台座など崇敬者から奉納されました。



天神会による第二回、梅花祭を行いました。

年越しの大祓い



祈年祭

節分祭

歳旦祭

## 天神社宮司御挨拶

第十二回天神会総会おめでとうございます。天神社の年間祭典行事案の中に盛り込んで消え、なかなか実施出来なかった祭典「うそ替え神事」を今年度新総代さんのお力により斎行出来ればと考えています。この神事は天神様（菅原道真公）をお祀りする神社でしか斎行する事が出来ない神事で「うそ替え」のうそは鳥の仲間スズメ目アトリ科に分類され、鳴き声が口笛に似ている為、口笛の古語である「嘯」から名付けられたと伝えられ、スズメよりも大きく、夏は高山に、冬は低山に住むようです。「うそ」の漢字は「驚」で、この鳥を木彫りにし、参拝の人達とそれぞれが取り替える神事で「すなわち「うそ替え」は一年中の「嘘」を、神前で「誠」に取り替えて、罪をほろぼす為であると言われております。多くは一月の七日か二十五日の初天神の日に行われています。この紙面を拝借し、前期総代でありました、高木清浩氏、佐藤多洋氏、鈴木章浩氏、犬居千寿氏の方々は四年間、総代のお役目をみごとに全うされました。事後深く感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございます。新たに一組岡本光市氏、二組鈴木正見氏、三組高木雅章氏、四組五組多米治夫氏が総代になりました。ここに報告申し上げます。

北島 啓進

中村 康夫

# 天神会会報

# 梅鉢



第十一号

平成24年5月吉日  
天神会編集委員

中村康夫 犬居千寿 平野之啓  
鈴木正見 山田敬明

## 天神会会長御挨拶

総会にあたり一言ご挨拶申し上げます。天神会の会長をお引き受けしてから三年が過ぎ、四年目を迎えました。こんな私が、会長の要職を全う出来たのも、宮司をはじめ役員の方々、又会員の皆様方のご協力の賜と深く感謝申し上げます。昨年度は、町内会の切願だった天神社の社務所が、見事に完成しました。本場に素晴らしい社となりました。改築に携わった改築委員会の皆様には、平成二十年から二十三年までと、長い期間ご尽力頂きまして有難うございました。心より御礼申し上げます。参拝にこられた方々からはい神社だとお褒めのお言葉を頂いております。天神会の会長としましては大変嬉しく思います。そして、天神社の発展のために、更なる協力を惜しまない覚悟でございます。私、会長職四年目、本年度は集大成の年として頑張っております。どうか会員の皆様方のご指導、ご鞭撻、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



今年も、見事に実をつけています。

# 天神社総代退任の御挨拶

## 「前総代代表」

天神会総会を迎えられおめでとうございます。天神社総代を四年間務めさせていただきましたが、今回は社務所改築委員会委員長と云う役も同時に努めさせていただきました。大変名誉な事と思っています。社務所も完成し総代と共に委員長も開放されホッとしております。しかし、この職務をまっとうできたのも住民のみなさんのおかげもありますが、天神会の協力があればこそ思っております。ありがとうございます。今後の天神会のさらなる発展をお祈り申し上げます。そして、前総代の皆様四年間ありがとうございました。

高木 清浩

## 「天神社総代退任にあたって」

退任にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。振り返ってみますと、私どもが、総代に就任した平成二十年に社務所改築の話が持ち上がり、当時、北島宮司や鈴木太加二氏の描いたスケジュールを基に、改築についての研究会や準備会を立ち上げ、様々な調査研究を行い、二十二年二月の町内会の総会で改築についての御賛同をいただき、三月十八日に第一回の改築委員会が開催され、以降、委員会及び役員会と八十回程の会合を積み重ね、その間、各種工事等も順調に進められ、二十三年五月地鎮祭、七月には上棟祭が執り行われ、十二月十一日に落成式が挙行され、目出度く完成の運びとなりました。ことはこの上ない喜びと思うところであります。まだまだ、残された課題はあろうかと存じますが、新たに就任された総代の皆様には、奉仕の精神で献身的な御尽力を賜りますようお願い申し上げます。最後に、天神社並びに天神会の益々のご発展と弥栄をご祈念申し上げます。総代退任のお礼のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

佐藤 多洋



## 「退任のご挨拶」

総代として四年間の任期を、宮司を始め皆様の御指導のもと無事終える事が出来ました。念願の社務所も立派に完成しました。改築委員会の一員として、微力ながら奉仕できた事は忘れられぬ思い出となるでしょう。今後は新総代のもと皆様と共に天神社を盛りあげていきたいと思っております。

鈴木 章浩

## 「退任のご挨拶」

平成二十年二月に役員改選により、皆さんの推挙によりまして天神社の総代を務めさせていただくことになり、二十四年三月までの四年の間無事務める事が出来ましたのも、皆様方のご協力があっての事と感謝申し上げます。振り返りますと、宮司指導によります神饌授受の作法に始まり、各総代会行事への出席、他地区の総代様との交流等、数々の総代の心得を取ることが出来ました。又二十年四月に総代会会合にて天神社復興計画として(絵馬掛け作成)手水舎の吐水龍設置(庁屋の建替え)亀石台座の整備(参道整備)を協議し、(絵馬掛け作成)は天神会との共同作業で二基作成、(亀石台座、吐水龍設置)は天神社奉納として設置することが出来ました。(庁屋の建替え(参道整備)に至っては、宮司、総代、天神会、町内会役員、氏子崇敬者の協力の基、改築委員会を設立し二十三年十二月には多数の皆様の列席を頂き落成式を行いました。本年度の歳旦祭、祈年祭は新しい社務所での祭式が執り行われました。又二十一年には静岡県神社庁関係者大会にて天神社宮司が表彰され、二十三年には天神会が十周年の表彰を受けました、大変名誉な事でもあり喜ばしい限りと思っております。鎮守の森の神社ですが、谷崎天神社として他地区から参拝の方が増えております。これからも総代、天神会、氏子崇敬者の協力を得まして益々発展する事を期待いたします。四年間のご協力ありがとうございました。

犬居 千寿